

町田佳世子(Ph.D)*・河村奈美子(Ph.D)**・酒井正幸(Ph.D)*・村山政彦***

*札幌市立大学デザイン学部 **札幌市立大学看護学部 ***札幌市円山動物園

要旨

動物園は、単に様々な動物を見せる施設から、種の多様性保存の拠点として、また環境教育の拠点として変わりつつある。新たな動物園の役割を実現していくためにも、来園した人たちがより深く動物のことを理解し、そこに動物園があることの意義を感じることが重要になる。動物園で動物を見たり動物に触れることでも来園者たちに「元気がでる」などの変化が生じたり、動物園に対する理解が深まることが報告されているが、飼育員とともに動物の飼育を体験する飼育体験は、体験者の気分や動物や動物園に対する理解に強く影響を与えると予想し、調査を実施した。

飼育体験『大人の1日飼育係』の参加者に対し、体験前後の気分と動物園・動物・飼育員に対する印象の評価を質問紙によって行った。また体験後すぐにインタビューを実施した。その結果、飼育員に対する印象はすべての項目において有意に向上し、体験の満足度との相関が見出された。動物については、距離をおいて見るだけでは実感することのできない「はげしさ」が、そして動物園については「暖かさ」や「清潔さ」の印象が有意に上昇した。自由な感想を聞くインタビューでは、飼育員の野生動物に対する思いや距離感、動物の生活環境維持への努力が参加者の心に強く残ったこと、また自ら動物にかかわることにより動物の見方が変わったことが見いだされた。これらの結果から、飼育体験が動物園の印象向上に大きな効果があることが示された。

大人の1日飼育係とは

- ・動物園が年数回実施
- ・16歳以上の大人を対象
- ・多数の応募者の中から各回10名
- ・午前中3時間飼育員と1対1で動物舎の清掃、餌の準備、動物の世話をす
- ・対象となる動物は、オオカミ、オランウータン、チンパンジー、マレーバク、爬虫類、サル、ライオン、トラ、ユキヒョウ、カバ、シマウマ、レッサーパンダなど多種にわたる

調査方法

- 対象:** 大人の1日飼育係参加者(10代-50代男女)
- 実施時期:** 2009年11月8日と22日
- 質問紙:** 気分尺度22項目および動物園・動物・飼育員についてSD法による印象形容詞全25項目
- 実施:** 趣旨説明と協力依頼⇒質問紙回答⇒飼育体験⇒質問紙回答⇒同意書署名⇒インタビュー(30分間)
- 協力者:** 質問紙20名(男性4名 女性16名) インタビュー14名(男性4名 女性10名)
- 分析:** 気分尺度および印象評価については、体験前後での平均値を比較した。Wilcoxonの検定実施

インタビューからの抜粋:飼育員に言及した箇所

「野生にいるべき動物と接する距離感がわかった」
 「砂に埋まっている干し草や細かいものまで、何度も何度も熊手みたいなのまで...清潔感というか...」
 「観察の仕方も説明してくれたりして」
 「ただべたべたする感じではなく、個を尊重している」
 「きちんとそれぞれの状況を見てあげているんだなあと感動した」

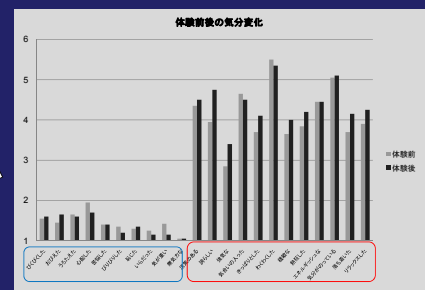
結語

『大人の1日飼育係』に参加を申し込む人たちは、動物に強い関心を持ち、動物園のリピーターであることが多い。それにもかかわらず、動物や動物園、そして飼育員の印象を新たにしている。特に飼育員の動物に対する姿勢や生活環境維持への努力に接することが、参加者の意識変化に強い影響を与えている。飼育体験は、動物園がハードの面だけでなく人的な努力で支えられていることに気づかせる体験であることを、これらの結果が示唆していると考えられる。

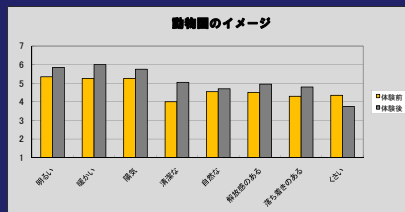
結果と考察

気分変化

飼育体験に対する期待から体験前からポジティブな気分が高くネガティブな気分は低い。体験後も有意な変化が見られたのは「誇らしい」と「強気な」だけで、体験前後で気分に大きな差はなかった。(赤がポジティブな気分、青がネガティブな気分)



動物園のイメージ

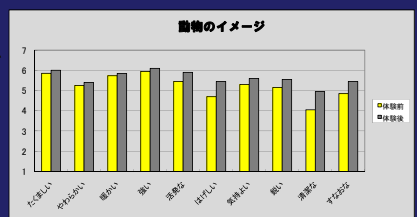


動物園のイメージ

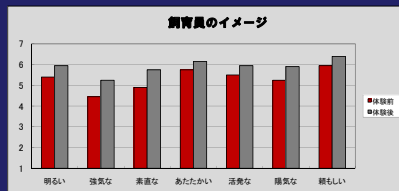
「暖かい」「清潔な」(p<.01)「陽気な」(p<.05)が体験後有意に上昇した。動物舎を清潔に保つ飼育員の努力や、動物との一体感を感じることで動物園という環境に対する意識の変容が生じたと考えられる。

動物のイメージ

体験後「はげしい」「清潔な」(p<.01)、「素直な」(p<.05)が有意に上昇した。大型の野生動物に間近で接触することで、ただ見るだけでは実感することのない動物たちの姿を知ることになったのではないだろうか。



飼育員のイメージ



飼育員のイメージ

体験後、7項目すべてにおいて有意に上昇した(「陽気な」がp<.01 それ以外はp<.05)。インタビューでの感想にも飼育員への言及は多く、飼育員の努力や動物に対する姿勢に直接接したことが印象の向上につながったと考えられる。

体験満足度

飼育員の印象向上(前後差の合計値)と体験満足度には正の相関がある($r=.576$ p<.01)。

